

環境経営レポート

2021年度版

(活動期間：2021年4月～2022年3月)



株式会社東北ビルド

2022年6月発行

目 次

会社概要	3～7
I. 環境経営方針	8
II. 環境負荷の実績（2017～2019年度）	9
III. 環境経営目標の設定（2019～2021年度まで中期目標）	10
IV. 2021年（令和3年）度の実績及び個別分析	11
II-1. 新環境負荷の実績（2019～2021年度）	12
III-1. 新環境経営目標の設定（2022～2024年度まで新中期目標）	13
V. 主要な環境経営活動の内容	14
VI. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無	15
VII. 代表者による環境経営活動の取り組みの評価・見直指示書	16
VIII. 地域への貢献	17
IX. 「いわて地球環境にやさしい事業所」4つ星認定!!	17
IX. 「健康優良法人2022」認定!!	17

株式会社 東北ビルドの概要

1 事業所名及び代表者名

株式会社 東北ビルド

代表取締役 江莉内 總夫

所在地：〒020-0147 岩手県盛岡市大館町18番8号

TEL 019-645-2456 FAX 019-646-7317

2 法人設立及び資本の額

法人設立：1986年（昭和61年）4月30日

資本の額：1,000万円

3 環境管理責任者氏名及び連絡先

責任者：業務部長 乳井 司

連絡先：Tel 019-645-2456

FAX 019-646-7317

e-mail:info@t-build.co.jp

4 事業内容

事業区分	業種許可・登録等	主要設備
① その他サービス業 各種油タンクの整備・保守点検 ・地下タンク等定期点検 （当初許可年月日：平成2年8月1日） ・鋼製地下タンクFRP内面ライニング （管理・監督） （当初許可年月日：平成24年8月15日）	全危協 地（6）第03008号 許可年月日：令和3年2月1日 有効期限：令和8年1月31日 全危協 地（2）第03001号 許可年月日：平成29年8月15日 有効期限：令和4年8月14日	検査用コンピュータ一式 作業用車両3台、タンクローリー 板厚測定器、防爆型測定器 防爆型投光器、ドラム缶 清掃用具一式
貯水槽清掃・整備 （当初許可年月日：平成元年5月26日）	岩手県知事 岩手県51二十八貯第1号 許可年月日：令和4年5月14日 有効期限：令和10年5月13日	高圧洗浄機3台、清掃用具一式 作業用車両3台
排水管の高圧洗浄	—	高圧洗浄車2台、洗浄用具一式、 CCDカメラ
濾材引抜・充填	—	高速吸引車、レシーバータンク、 チューブポンプ トラック他機材一式
② 建設業（土木・管・水道施設工事） （当初許可年月日：平成9年5月2日）	岩手県知事 許可（般-24 第9722号） 許可年月日：令和4年5月2日 有効期限：令和9年5月1日	2tトラック1台 工事用機材一式、作業用車両2台
③ 産業廃棄物の収集・運搬業 産業廃棄物 （当初許可年月日：平成2年8月1日）	岩手県知事 許可番号 00301007080 許可年月日：令和2年8月1日 有効期限：令和7年7月31日	バキュームダンパー車2台 バキューム車2台 パワーゲート付3tトラック2台 ワゴン車1台 ドラム缶等
許可内容	有機汚泥、無期汚泥、廃油、廃アルカリ、ガレキ、廃プラ、廃酸、金属くず、木くず、紙くず、繊維くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、ゴムくず、動植物性残さ	
特別管理産業廃棄物 （当初許可年月日：平成5年7月28日）	許可番号 00351007080 許可年月日：平成30年7月28日 有効期限：令和5年7月27日	
許可内容	引火性廃油（揮発油類、灯油類及び軽油類に限る。）	

5 事業規模

(株)東北ビルドの事業規模は下記のとおりです。

事業項目	2016年 (H28年)度実績	2017年 (H29年)度実績	2018年 (H30年)度実績
売上高総額 円	175,476,908	166,068,650	199,401,161
保守・点検収入※	164,738,330	157,416,554	186,856,907
工事収入	10,223,280	8,353,800	12,024,720
商品売上	515,298	298,296	519,534
受託した産廃収集・運搬量 t	353.90	312.60	357.10
従業員（非常勤役員を除く）	18	17	19
主要施設 敷地面積 m ²	437.62	437.62	437.62
事務所 m ²	49.27	49.27	49.27
車両 台	24	24	24

事業項目	2019年 (R元年)度実績	2020年 (R2年)度実績	2021年 (R3年)度実績
売上高総額 円	184,965,079	173,117,501	179,846,682
保守・点検収入	183,180,043	163,305,298	167,073,602
工事収入	1,276,000	9,556,607	8,001,290
商品売上	509,036	255,596	4,771,790
受託した産廃収集・運搬量 t	334.06	334.18	411.25
従業員（非常勤役員を除く）	20	20	20
主要施設 敷地面積 m ²	1159.73	1159.73	1159.73
事務所 m ²	284.15	284.15	284.15
車両 台	24	24	24

※ 産業廃棄物収集・運搬収入含む

2021年度 受託した廃棄物収集運搬量(内訳)		
	種 類	数量 (t)
産業廃棄物	汚泥	326.19
	廃油	7.198
	廃酸	0.13
	廃アルカリ	0.35
	廃プラ	0.215
	繊維くず	0.005
	小 計	334.088
特別管理産業廃棄物	引火性廃油	0.096
	引火性廃油 (有害)	0
	小 計	0.096
合 計		334.184

334.18

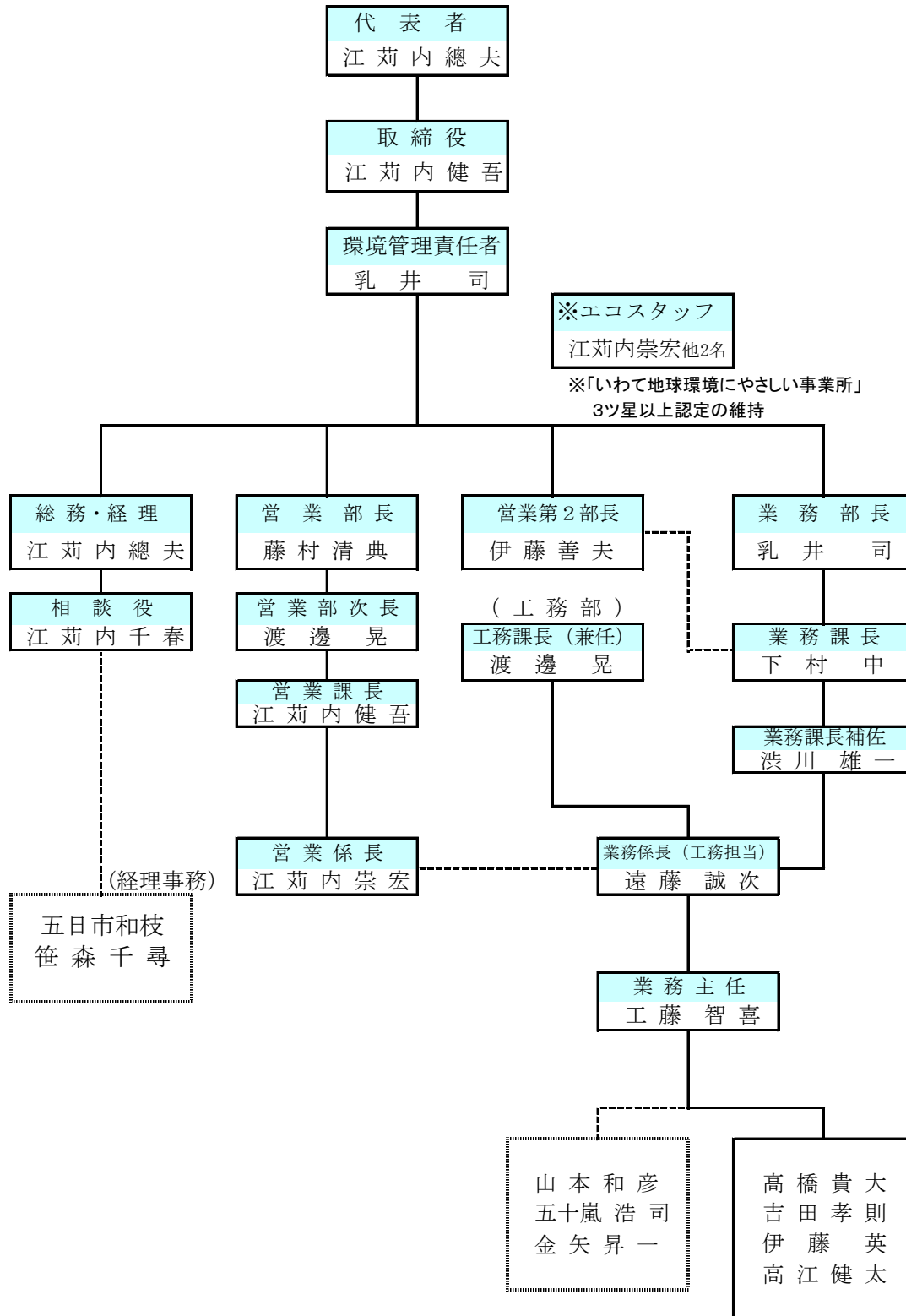
6 認定登録範囲

全社、全事業活動、全従業員。

7 エコアクション21の実施体制

文書番号D-08

(1) 組織図

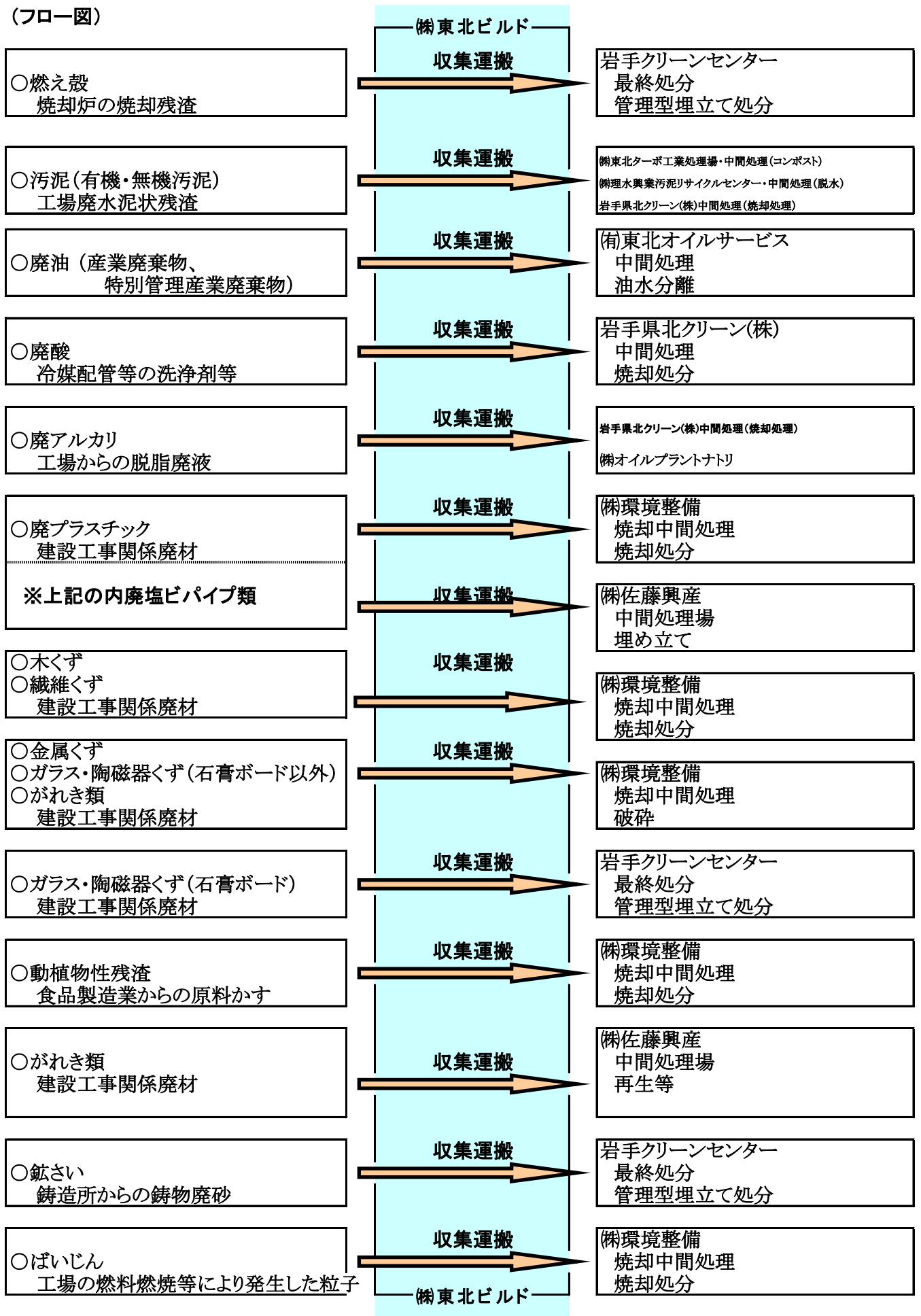


(2) 役割と責任・権限

役 割	担 当 者	責 任 と 権 限
代 表 者	江 莉 内 總 夫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効率的な実施体制を構築する。 ・ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知する。 ・ 全体の評価と見直しを実施。 ・ 経営における課題とチャンスの整理・まとめ。 ・ 経営資源の準備（人、物、資金）。
統 括	江 莉 内 健 吾	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表者に代わってシステムの確認を行い、統括的な業務とシステムの調和を図り、環境管理責任者と連携する。
環境管理責任者	乳 井 司	<ul style="list-style-type: none"> ・ 代表者に代わってシステムを構築し、運用する。 ・ 代表者に結果報告する。 ・ 社員の先頭にたち、社員の意識を高める。
(各部門責任者) 総務・経理 営業部 業務部 工務課	江 莉 内 總 夫 藤 村 清 典 乳 井 司 渡 邊 晃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引先や顧客に対して弊社がエコアクション21に取り組んでいる事を説明し、環境保全活動に対して理解と協力を得る。 ・ 部門内において、省資源、省エネ、節水を奨励・実施する。 ・ 必要な教育訓練を計画し実施する。 ・ エコアクション21目標達成の取組を推進し、チェックし、環境管理責任者の了承のもと、必要な是正・改善を行う。
エコスタッフ	工 藤 智 喜 江 莉 内 崇 宏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者を補佐し、率先して「いわて地球環境にやさしい事業所」三ツ星以上認定の維持に努め、エコアクション21を強力的に推進する。
全従業員		<ul style="list-style-type: none"> ・ 部門責任者のもと、省資源、省エネ、節水に努める。 ・ エコアクション21取組に関する教育訓練を受ける。 ・ 自主的に地域貢献活動に参加する。 ・ 改善提案を行う。

8 産業廃棄物収集・運搬の事業計画（発生から処分まで）

（フロー図）



I. 環境経営方針

環境経営方針

《基本理念》

株式会社東北ビルドは、より美しい地球を次世代に引き継ぐために、環境とエネルギーに関する様々な課題に対し、地域の顧客の皆様のニーズに即応した、より高い品質のサービスを提供いたしますとともに、その事業活動を通じて全従業員が自然環境への負荷の軽減と環境保全に取り組み、持続可能な循環型社会の実現に貢献します。

《基本方針》

株式会社東北ビルドは、産業廃棄物の収集運搬事業及びその他の事業活動を通じ、常に環境への影響を意識し、以下の活動を全員参加で実践することで、循環型社会の形成に貢献することを目指しています。

- 1 電力、車両燃料等、省エネを推進し、二酸化炭素排出量削減を推進します。
- 2 水使用量削減等、省資源を推進します。
- 3 自社で発生した廃棄物のリサイクル率の向上に努めるほか、顧客に対しても、積極的に分別方法等を伝え、顧客のリサイクル率向上に寄与し、信頼を獲得します。
- 4 工事、清掃業務等における品質の向上、手直しゼロを目指し、顧客満足度向上に結び付け、安定した受注と新たな顧客獲得を目指します。
- 5 環境に関連する法規制、協定を遵守することはもとより、汚染の予防に努めます。
- 6 環境活動の目的、目標及び施策を活動計画の中で明らかにし、全員がそれぞれの役割に応じて創意をもって環境管理活動を実施します。
- 7 代表者による取組状況の評価と全体的な見直しの実施により、活動状況を確認し、改善及び是正を行い、全員でスパイラルアップ（継続的改善）に努めます。
- 8 環境経営方針の周知と教育を通じて、全員の意識の向上を図ります。
- 9 地域・社会との協調をはかり、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

2006年10月1日 制定
(2021年4月1日 第6改訂版)

株式会社 東北ビルド
代表取締役社長

江莉内 總夫

Ⅱ. 主要な環境負荷の実績（基準年度3ヵ年）

項目	単位	実 績			※基準年度実績	
		2017年度	2018年度	2019年度	2017～2019年度平均	
参 考	※工事・作業等件数	件	1,525	1,613	1,661	1,600
	売上高総額	百万円	166.1	199.4	184.9	183.5
	受託した産廃収集運搬量		357.13	312.60	334.06	334.60
	(産 廃)	t	(355.04)	(310.47)	(329.12)	(331.54)
	(特 管)		(2.09)	(2.13)	(4.94)	(3.05)
	砂（建築資材としての資源等使用料）	t	11.0	15.0	37.0	21.0
	kg-CO2/工事・作業等件数		70.1	69.1	66.1	68.3
	kg-CO2		106,951	111,450	109,756	109,308
	(内訳)	(kg-CO2換算)	(kg-CO2換算)	(kg-CO2換算)	(kg-CO2換算)	(kg-CO2換算)
	※1 購入電力	k w h	11,556 6,934	12,085 7,251	15,190 8,020	15,190 8,020
	※1 灯 油	ℓ	5,772 14,383	4,047 10,085	995 2,478	995 2,478
	※2 都市ガス	m ³	0 0	0 0	2,680 5,869	2,680 5,869
	※3 ガソリン	ℓ	10,829 25,141	12,161 28,234	12,728 29,530	12,728 29,530
	軽 油	ℓ	23,089 60,493	25,145 65,880	24,374 63,859	24,203 63,411
廃棄物等総排出量	kg/工事・作業等件数		12.3	5.3	5.6	7.6
	kg		18,714	8,577	9,307	12,199
	一 般	kg	444	427	657	509
	産 廃	kg	18,270	8,150	8,650	11,690
水使用量(上水)	ℓ/工事・作業等件数		245.9	133.9	149.3	174.8
	ℓ		375,000	216,000	248,000	279,667
工事・清掃等における手直しゼロ	%		100.0	100.0	100.0	100.0

- ※ 工事作業等件数は車両稼働台数等を現場ごとに調査した数字を積み上げているため、実際の件数よりも、はるかに多い数字となった。
- ※1 2019年7月1日新社屋移転に伴い、光熱費の実績がないため（購入電力、灯油、都市ガス、）については、過去3ヶ年の平均値とするところを、2019年の実績とした。
- ※2 なお、都市ガスについては、4,5,6月分wの実績がないため、使用見込み分600m³を上乗せして補正した。（係数2.19-CO2/m³）
- ※3 ガソリンについても新社屋から旧社屋（作業車置場）間の移動で営業車両の燃料消費が増えているので2019年度実績を採用した。その他については3ヶ年の平均を記載した。

Ⅲ. 環境経営目標の設定（2021年度まで）

項目	単位	基準年度実績①		各年度の目標						
		2017～2019年度平均		2019年度 (①×99.9%)		2020年度 (①×99.8%)		2021年度 (中期目標) (①×99.7%)		
二酸化炭素排出量	kg-CO2/工事・作業等件数	68.3		※	68.2		68.1		67.9	
	※工事作業等件数	1,600			—		—		—	
	kg-CO2	109,308		※	109,245		109,089		108,980	
	(内訳)	(kg-CO2換算)		※	(kg-CO2換算)		(kg-CO2換算)		(kg-CO2換算)	
	購入電力	k w h	15,190	8,020	15,190	8,020	15,160	8,004	15,144	7,996
	軽油	ℓ	24,203	63,411	24,179	63,348	24,155	63,284	24,130	63,221
	ガソリン	ℓ	12,728	29,530	12,728	29,530	12,703	29,471	12,690	29,441
	都市ガス	m ³	2,680	5,869	2,680	5,869	2,675	5,857	2,672	5,851
灯油	ℓ	995	2,478	995	2,478	993	2,473	992	2,471	
水使用量（上水）	ℓ/工事・作業等件数	174.8			174.6		174.4		174.3	
	ℓ	279,667			279,387		279,108		278,828	
廃棄物等総排出量（産廃）	k g	1,557			1,556		1,554		1,552	
地域貢献	%	100.0			100%					
工事・清掃等における手直しゼロ	%	100.0			100%					

※ 工事作業等件数は車両稼働台数等を現場ごとに調査した数字を積み上げているため、実際の件数よりも多い数字となっている。

IV. 2021年(令和3年)度の実績及び個別分析

項目	単位	基準年度実績		目 標		実 績		評 価	
		(2017~2019年度平均)		2021年度(再掲)		2021年度		達成率	
								増 減	
参 考	※ 工事・作業等件数	件	1,600		—		1,770		—
	売上高総額	百万円	177.3		—		179.8		—
	受託した産廃収集・運搬量		334.60						
	(産 廃)	t	(331.54)		—		(334.09)		—
	(特 管)		(3.05)				(0.09)		
	砂(建築資材としての資源等使用料)	t	21.0		—		12.0		—
二酸化炭素排出量		kg-CO2/工事・作業等件数	68.3		67.9		56.6		○ 119.9%
		kg-CO2	109,308		108,980		100,158		※ 減少分は都市ガスの補正分である。
	(内訳)		(kg-CO2換算)		(kg-CO2換算)		(kg-CO2換算)		
	※1 購入電力	k w h	15,190	8,020	15,144	7,996	15,281	8,068	微 増
	軽 油	ℓ	24,203	63,411	24,130	63,221	21,378	56,010	減 少
	ガソリン	ℓ	12,728	29,530	12,690	29,441	12,494	28,987	減 少
	都市ガス	m ³	2,680	5,869	2,672	5,851	2,557	5,599	減 少
	灯 油	ℓ	995	2,478	992	2,471	600	1,494	減 少
水使用量(上水)		ℓ/工事・作業等件数	174.8		174.3		155.9		○ 111.8%
		ℓ	279,667		278,828		276,000		減 少
廃棄物等総排出量(産廃)		k g	1,557		1,552		850		○
地 域 貢 献		%	100%		100%		100%		○
工事・清掃等における手直しゼロ		%	100%		100%		100%		○

※ 工事件数等件数は車両稼働台数等を現場ごとに調査した数字を積み上げているため、実際の件数よりも多い数字となっている。

※1 削減効果等検証のため、購入電力の二酸化炭素係数は2021年度目標設定時の2018年度実績0.528にて算出。

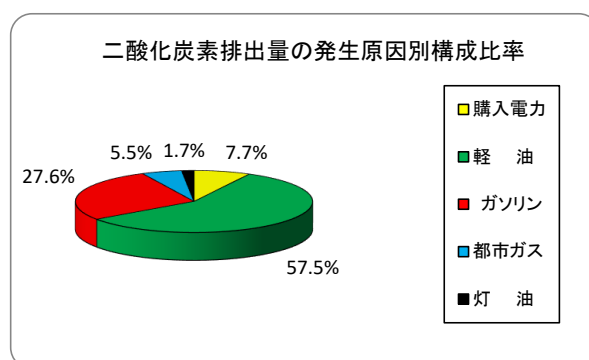
評価(○△×)の判断基準

- … 年度目標を達成。
- △ … 年度目標未達成であるが、取り組みの成果はあった。
- × … 年度目標未達成で、取り組みの成果もなかった。

Ⅱ－１．新環境負荷の実績

項 目	単 位	実 績						基準年度実績		
		2019年度		2020年度		2021年度		2019～2021年度平均		
参 考	※ 工事・作業等件数	件	1,661		1,676		1,770		1,702	
	売上高総額	百万円	184.9		173.1		173.8		177.3	
	受託した産廃収集運搬量		334.06		334.18		411.25		359.83	
	(産 廃)	t	(329.12)		(334.09)		(409.33)		(357.52)	
	(特 管)		(4.94)		(0.09)		(1.91)		(2.31)	
	砂（建築資材としての資源等使用料）	t	37.0		12.0		37.0		28.7	
	kg-CO2/工事・作業等件数		66.0		60.1		56.5		60.8	
	kg-CO2		109,649		100,648		100,051		103,449	
	(内訳)		(kg-CO2換算)		(kg-CO2換算)		(kg-CO2換算)		(kg-CO2換算)	
	※1 購入電力	k w h	15,190	7,913	15,546	8,099	15,281	7,961	15,339	7,991
	軽 油	ℓ	24,374	63,859	22,384	58,646	21,378	56,010	22,712	59,505
	ガソリン	ℓ	12,728	29,530	11,695	27,132	12,494	28,987	12,306	28,550
	都市ガス	m ³	2,680	5,869	2,546	5,576	2,557	5,599	2,594	5,681
	灯 油	ℓ	995	2,478	480	1,195	600	1,494	692	1,722
	水使用量(上水)	ℓ/工事・作業等件数	149.3		164.7		140.7		151.4	
		ℓ	248,000		276,000		249,000		257,667	
	廃棄物等総排出量(産廃)	k g	8,650		850		8,650		6,050	
	地 域 貢 献	%	100.0		100.0		100.0		100.0	
	工事・清掃等における手直しゼロ	%	100.0		100.0		100.0		100.0	

※ 工事業等件数は車両稼働台数等を現場ごとに調査した数字を積み上げているため、実際の件数よりも多い数字となっている。
 ※1 削減効果等検証のため、購入電力の二酸化炭素係数は各年度とも2022年1月8日環境省公表の2020年度実績0.521にて算出。



Ⅲ－1. 新環境経営目標の設定（2022年度から2024年度まで中期目標）

項 目	単 位	基準年度実績①		各 年 度 の 目 標					
		2019～2021年度平均		2022年度（①×99.9%）		2023年度（①×99.8%）		2024年度（中期目標） （①×99.7%）	
二酸化炭素排出量	kg-CO2/工事・作業等件数	60.8		※ 60.8		60.6		60.5	
	※工事作業等件数	1,702		—		—		—	
	kg-CO2	103,521		103,417		103,314		103,210	
		(kg-CO2換算)		(kg-CO2換算)		(kg-CO2換算)		(kg-CO2換算)	
(内訳)									
※1 購入電力	k w h	15,339	8,063	15,324	8,055	15,308	8,047	15,293	8,039
軽 油	ℓ	22,712	59,505	22,689	59,445	22,667	59,386	22,644	59,326
ガソリン	ℓ	12,306	28,550	12,294	28,521	12,281	28,493	12,269	28,464
都市ガス	m ³	2,594	5,681	2,591	5,675	2,589	5,670	2,586	5,664
灯 油	ℓ	758	1,722	757	1,720	756	1,719	756	1,717
水使用量（上水）	ℓ/工事・作業等件数	151.4		151.2		151.1		150.9	
	ℓ	257,667		257,409		257,152		256,894	
廃棄物等総排出量（産廃）	k g	6,050		6,044		6,038		6,032	
地 域 貢 献	%	100.0		100%					
工事・清掃等における手直しゼロ	%	100.0		100%					

※ 工事作業等件数は車両稼働台数等を現場ごとに調査した数字を積み上げているため、実際の件数よりも多い数字となっている。

※1 削減効果等検証のため、購入電力の二酸化炭素係数は各年度とも2022年1月8日環境省公表の2020年度実績0.521にて算出。

V. 主要な環境経営活動の内容

■二酸化炭素排出量の削減

○軽油、ガソリン使用による二酸化炭素排出量の削減

1. エコドライブの徹底
2. アイドリングストップの徹底
3. タイヤの空気圧を適正に保つ

○電力使用による二酸化炭素排出量の削減

1. 未使用時消灯・電源オフの徹底
2. 事務機器の省電力設定
3. 自然光を出来るだけ活用する
4. トイレの暖房用ヒーター、便座の温度設定を下げる
5. 電気ポットの夜間保温停止

○灯油・ガス使用による二酸化炭素排出量の削減

1. 暖房・冷房の温度管理の徹底（冷房 28℃、暖房 24℃）
2. クールビズ・ウォームビズの推進
3. 灯油焚き温水器・ガス湯沸し器の温度設定を通常時最低にする

■水道水の使用量の削減

1. トイレの流水量の調整
2. 手洗い等における流しっぱなしの厳禁
3. 車輻洗車時の節水

■廃棄物等総排出量の削減

1. 社内文書の裏紙使用を徹底する
2. 複数枚コピーの場合、両面コピーを推進する
3. 紙類の分別・リサイクルの徹底
4. 電子文書化の推進
5. 紙類・廃プラ類を分別して、可燃ごみを減らす
6. 空き缶、ペットボトル、ビンは分別して資源回収に出す

■地域への貢献

1. 環境美化奉仕、除雪奉仕の他、オイル流出汚染現場等への復旧協力。

■顧客満足度向上、安定した受注と新たな顧客獲得

1. 工事・清掃等における品質の向上、手直しゼロ。

■環境保全意識の向上

1. 環境方針の周知と環境及び業務関連の講習会等への参加、社内教育を通じ全従業員の環境保全に対する意識の向上を図る。

■環境汚染の予防

1. オイルタンクの点検・整備等において、お客様に法改正、点検期日、整備方法等の情報を的確に提供することにより、環境汚染の防止を図る。

VI. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

活動期間中に各部門責任者が管轄部門内をチェックした結果、違反行為は検知されなかった。また、行政からの指導及び勧告等も受けず、住民からの苦情、訴訟等もなかった。

以下に主な法令等を記す。

- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）第12条1項他
- ・ 危険物の規制に関する規則 第62条の6
- ・ 有機溶剤中毒予防規則 第5条他
- ・ 水質汚濁防止法 第14条の二
- ・ フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）第16条
- ・ 盛岡地区広域行政事務組合火災予防条例 第51条

環境保全推進問い合わせ窓口

環境管理責任者：業務部長 乳 井 司

T e l : 019-645-2456

F a x : 019-646-7317

[e-mail: nioi@t-build.co.jp](mailto:nioi@t-build.co.jp)

VII. 代表者による環境経営活動の取り組みの評価・見直し指示書

1. 評価

評価項目	内 容
①環境関連法規の遵守状況	違反はなかった。
②環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果	《二酸化炭素排出量》電力は前年度より僅かに増となっているが、他については、全て減少し、全体としては目標を達成した。EA21に取り組んで以来、二酸化炭素の削減を目指して活動を継続しており、是正措置は必要ないと判断している。徹底した節約意識の浸透と各月毎の購入電力、灯油等の各化石燃料及び水使用量の実績をグラフにして掲示し、機会ある度に啓発している成果は出ている。実際、原単位(kg-CO2/工事・作業等件数)の値では達成率119.9%であった。燃料代の高騰も続いており、良い結果となった。
	《水使用量》達成率111.8%。洗車機導入後、大幅な削減に成功している。冬場の出勤回数増減に伴う洗車回数の増減と、現場に作業用の水を運搬する業務の増減に伴い使用量そのものが増減するため、評価上考慮している。各自の節水意識は身に付いていると判断している。
	《廃棄物等総排出量》今期、産廃は減少した。今後もゴミの減量、分別・リサイクルの徹底等を相互に啓発し合っていく。(※産廃分の内、工事がらみのものは契約上、自社扱いとしていた汚泥等の排出分を2015年分から、目標の対象外としている。)
	《地域への貢献》達成。環境美化活動、冬季除雪奉仕活動等実施。
	《工事・清掃等における手直しゼロ》達成。今後も確実、丁寧な仕事で、顧客満足度向上につなげる。
《環境保全意識の向上》会議等での意識付け、社内教育、グラフ等の掲示による啓発等実施。達成。	
③問題点の是正処置及び予防措置の結果	特になし。
④外部からの苦情等の受付結果	苦情はなし。
⑤組織に影響する法規制動向	該当なし。

上記のとおり報告します。2022年6月1日 環境管理責任者

乳 井 司

2. 代表者による見直し等の指示

見直し項目	評 価	改善及び指示
1. 環境経営方針	うまく機能している。	
2. 環境経営目標及び環境経営計画	うまく機能している。	
3. 実施体制	見直す必要なし。	

上記のとおり指示します。2022年6月1日 代表取締役社長

江 莉 内 總 夫

3. 次期取り組み内容

- ① 2021年度までの、過去3ヶ年度における実績から策定した新中期目標達成に向けて、取り組みを実施する。
- ② 引き続き、従業員の意識改革を一層向上させるとともに、作業及び事務処理の効率化・省力化に取り組む。

VIII. 地域への貢献

(1) 環境美化奉仕活動

春と秋年2回のゴミ拾い等の環境美化奉仕活動を行なっている。

(2) 除雪奉仕活動

降雪量に応じて会社周辺道路の除雪奉仕活動を行なっている。

(写真は2022年1月18日)



IX. 「いわて地球環境にやさしい事業所」 4つ星認定！

弊社は、2008年3月に岩手県より「いわて地球環境にやさしい事業所」の認定を取得しており、エコスタッフ2名を擁し、3つ星以上の維持を目指して活動に取り組んできた。その結果、2016年度から4つ星に認定されている。

X. 「健康経営優良法人2022」認定！！

弊社は、健康経営の取組が優良であると認められ、2022年3月9日付で日本健康会議より「健康経営優良法人2022」に認定されている。